

加熱時間 5分の1に

CFRP成形向け装置

中部電など

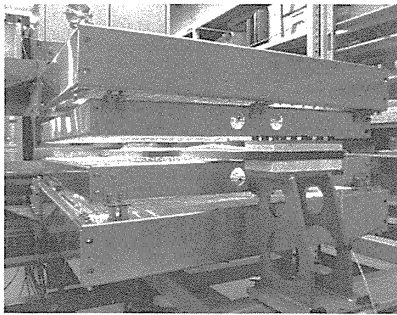
【名古屋】中部電力は3日、プレス成形向け薄板炭素繊維強化プ

ラスチック(CFRP)の急速加熱装置「CFR11」写真」を、メトロ電気

日、佐藤鉄工所が受注を始めた。価格は仕様によるが発熱部が長さ470ミ×幅700ミ

た。内部の加熱が十分だとCFRP内部に隙間ができる場合があ

るが、内部まで均一に加熱する技術を確立した。起動1秒で所定出力に達し、待機時間がない。従来の赤外線式は加熱に約60秒を要し、同様のアルミニウム部品の標準的な製造時間の2倍かかっていた。



工業(愛知県安城市)、佐藤鉄工所(名古屋港区)と共同開発したと発表した。従来の赤外線式加熱装置に比べ加熱時間を5分の1の12秒に短縮した。同

で700万円程度。販売目標は年間10台。中部電などは厚さ1ミ²の薄板CFRPの赤外線吸収特性を分析し、最大効率で熱を吸収する赤外線波長を突き止め、その波長を出力できるカーボンヒーターを採用し

FAプロダクツ(東京都港区、貴田義和社長、03・6453・6761)は3日、米国「FAクラウド

ア州)、神戸デジタルラボ(神戸市中央区)と共同で、製造業向け高速クラウドサービス「FAクラウド

製造業向けに特

高速クラウドサー